

CHARGE



オパシメーターの導入はお済みですか?

2010年10月の完全施行に向け体制整備が加速しています

ディーゼル車の排出ガス低減技術の高度化に伴い、より効果的な検査を行うために2007年9月から本格導入が開始となったオパシメーター。2010年10月以降、オパシ認証車の検査はオパシメーターを使用した検査が必要になり、経過措置期限が刻々と迫ってきています。

オパシメーターはなぜ必要?

現行の車検(継続検査)では、ディーゼル車から排出される粒子状物質(PM)の検査には黒煙のみを測定する黒煙測定器を使用して汚染度を測定していました。しかし、最近のディーゼル車は排出ガス規制の強化や排出ガス低減技術の高度化により、ほとんど黒煙が排出されなくなっています。一方で、PM中の未燃焼成分である有機性可溶成分(SOF成分)の排出割合は増加傾向にあることから、国は黒煙のほかSOF成分まで測定できるオパシメーターによるPM測定を義務付けることに。このため、黒煙測定器による黒煙測定検査に代えて、SOF成分まで含めてより高精度に測定が可能なオパシメーターを使用したPM検査を新たに導入することになりました。

オパシメーター導入の現状は?

全国の認証工場は約9万件。そのうち指定工場は約3万件を占めています。指定工場の半数がオパシメーターを導入すると仮定すると、約1万5千台の潜在需要が見込まれますが、現

在までの導入実績はそのうち約2割前後に留まっています。

●認証工場と指定工場の数

認証工場	
91,205	指定工場 29,036

※国土交通省調べ(2009年4月末現在)

●オパシメーター販売実績

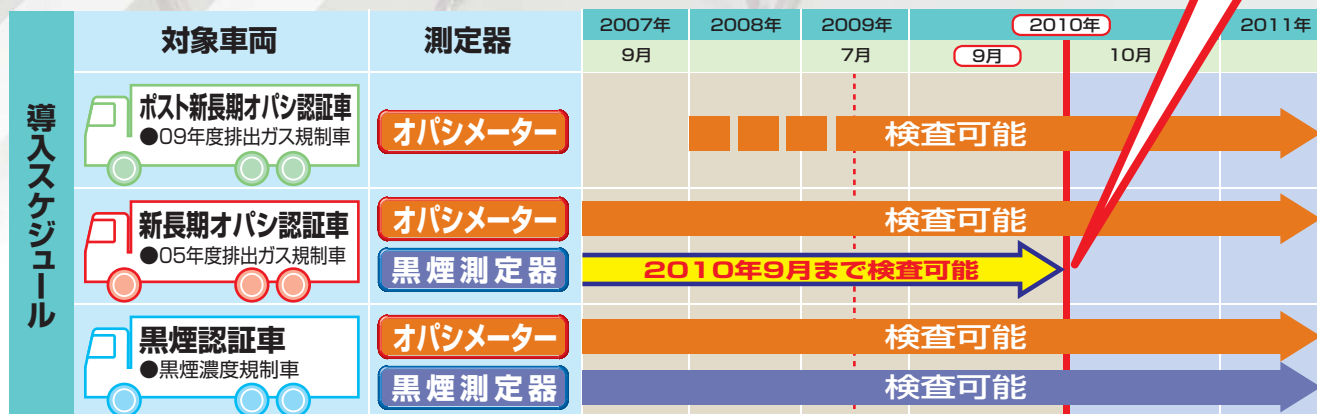
07年度	837台
08年度	2,506台
合計	3,343台

※日本自動車機械工具協会調べ

オパシメーターの導入はお早めに

現在、約23万台のオパシ認証車が市場に潜在しています(自社調べ)。今後、オパシ認証車の入庫が増えていくことを考慮すればこそ、より精度の高い測定ができるオパシメーターが必要になってきます。今回紹介しているオパシメーターは従来の黒煙測定器と比べ、操作性が向上し、スピーディーな測定が可能です。ろ紙のセッティングや交換の手間がかからないうえ、メンテナンス性が格段に向上しているため、作業の効率化につながります。経過措置終了期限まで残りあとわずか。オパシメーターの早めの導入をおすすめいたします。

**オパシメーターの導入が必須です。
3年間の経過措置終了**



有限会社 宮本モータース

知りたい!
元気のショップの秘密

新潟県魚沼市堀之内103
Tel. 025-794-2508

1937年創業。すでに70年に及び地域のカーライフを支えてきた宮本モータース。総社員数は30名、うち4名が六日町店勤務です。8名のメカニックのうち5名が検査員資格を持ち、他に4名がBP担当です。今期(2009年1月1日~12月31日)の売上目標は8億7千万円で、その内訳は車販4億8,700万円、サービス売上2億3,600万円、六日町営業所1億4,200万円、保険売上6,300万円などです。宮本モータースの業態には宮本好治社長のあくなき工夫が織り込まれ、経営哲学が凝縮されています。またそれは、雪国にやってきた過疎化・少子高齢化の波に立ち向かうための知恵でもあります。車に関するトータルサービスを目指す宮本モータースさんにお話を伺いました。



代表取締役社長
宮本 好治 様

幅広い事業展開と将来を見据えた工夫で厳しい経営環境に挑む

■厳しい経済環境の中、在庫促進を生む広い事業展開

市場環境は厳しい、と宮本社長は語ります。「動き口のない若者が職を求めて都会に出ていくことで過疎化が進んでいます。したがって、自然とクルマの保有台数も減り、売上げにも影響が出ています」。しかし同社は多岐に渡る事業を展開しており、それが在庫促進の工夫を生み出す源です。同社は、車販(中古車含む)、クイックサービス、車検、保険、解体・リビルトパーツ販売、BP(板金・塗装すべて内製化)、オイル管理などをカバーしています。さらに「DAMS」(ドレスアップ・アンド・メンテナンス・ショップ)というブランドで部用品の脱着交換やタイヤ・ホイールのチューニングなどを行っており、まさにカーライフのトータルパートナーです。「クルマに関するすべてを当社で行っていますから、お客様との絆は深くなります。また、事業の「柱」が多いため、トータルの売上げはある程度安定を保てます。例えば景気が悪く車販が鈍化しているときは、車検やメンテナンスに訪れるお客様が増える、というように、マイナスになっている事業を別のメニューで補えます。また、在庫頻度を上げるシステムの構築が、売上げに貢献していると思います」(宮本社長)。在庫頻度の増大策は、3,000kmごとのエンジンオイル交換の推進と4ヶ月(平均3,000km走行)に1回のカーコーティング・メンテナンスです。カーコーティング・メンテナンスは、融雪剤による錆を防止するために始めた、雪国ならではのサービスです。平均4ヶ月に1回の入庫を促しているため、お客様は年間3回、車検までに6回訪れることになり、そのときさらにクイック整備の売上げも期待できます。「今期の入庫台数目標は車検1,350台、BP900台、クイック整備(一般整備)8,000台で、月間平均1,000台の入庫を目標としています」。

■作業を効率化する、4WD車の検査ラインと アライメントテスター「G-SWAT」に納得



4WD車の入庫が多い雪国では
多軸フリーローラーが必要

宮本モータースの検査ラインにはANZENの車検機器や、4WD車用の「多軸フリーローラー」が設置されています。検査員の重野直人さんは「検査の流れがスムーズですし、「多軸フリーロー

ラー」は4WD車の多い雪国では大助かりです。また、「画像処理方式手動ヘッドライトテスター」も視認に優れています」と感想を述べてくれました。4輪ホイールアライメントテスター「G-SWAT」は、宮本モータースでは当初、BP業務の一環として設置しましたが、最近ではタイヤ・ホイールのインチアップ時に測定・調整用として使用しています。アライメントテスターについてDAMSフロントメカニックの山田富男さんにお聞きしました。「景気が厳しくなって、ローダウン希望者も最近では少なくなってきましたね。「G-SWAT」は4輪同時に状況を知ることができますし、調整もセットしたままできるので非常に効率的です。アライメントの精度は重要なのでしっかり使わせていただいています」と語ってくださいました。

■高齢化社会を見据えたサービスの導入を

宮本モータースは福祉車両を2台、代車として用意しており、介護施設などで使われる車両の点検や整備を行うサービスを展開しています。この事業を始めるにあたり、宮本社長を含めた社員5名でサービス助士の資格を取得するなど、チャレンジスピリットが垣間見えます。「人口の4人に1人が65歳以上といわれる昨今、高齢化は避けて通れない問題です。今後も地元のため、社会のために貢献したいというのが私の気持ちです」(宮本社長)。今回の取材では、カーライフのトータルサポートを通じて少しでも地域に貢献したいという強い気持ちで、宮本社長から伝わってきました。



福祉車両の代車サービスも手かげ
今後さらなる需要が期待される



タイヤの性能を充分に発揮できるよう
G-SWATで足回りのスレを補正

Honda Cars 茨城南 神栖木崎店

いま注目!
のショップ訪問

茨城県神栖市木崎208-1
Tel. 0299-92-6066

Honda Cars 茨城南(株式会社ホンダ茨城南)は、総社員200名(サービス担当103名)、営業所は13拠点。2008年度(08年4月~09年3月)の経常利益は2億円です。サービス売り上げは12億3,000万円、年間入庫台数は約20,000台(車検10,000台、その他一般整備、法定点検、BPなど10,000台)。08年度の新車販売は3,048台で、うち神栖木崎店は281台。ハイブリッド車インサイトの登場が功を奏し、新車販売は07年度と比較してもほぼ横ばいでした。そうした「旬」なHonda Cars 茨城南から、今回はリニューアルしたばかりの神栖木崎店さんにお話を伺いました。



店長
荒川 勉 様



工場長
五関 和也 様

作業の内製化と既存顧客の重視で新時代のサービスを

■“まごころ感謝祭”でお客様との交流を

神栖木崎店に限らず、Honda Cars 茨城南の車検メニューは、1時間立ち会ひのクイック車検が基本です。しかもお客様のクルマをしっかり管理しているので、事前に入庫する必要はありません。また、同社は「まごころ感謝祭」を年に2回行い、さらに同種のイベントを5月か10月に開催しています。この感謝祭では、お客様をおもてなしするとともに、1年以内に車検のあるお客様を対象に車検予約会を行います。ご予約の際には3,000円の予約申込金をいただきますが、同額相当の洗剤などの生活用品をプレゼントします。しかも、車検当日には3,000円を値引きするため、お客様に大変喜ばれています。

■スピーディー&省スペースのピットを実現



合格範囲枠が一目瞭然のHLI-205
調整作業がとてもスピーディー

神栖木崎店のメンテナンスピットは以前の3ピットから5ピットに拡大され、新たに車検ラインも加わりました。新設の車検ラインについて、五関和也工場長は「ハイブリッドテスター」は非常にコンパクトでとても操作しやすいので、時間短縮に貢献しています。それに「画像処理方式手動ヘッドライトテスター」も、ターゲットを追うのがスピーディーで正確ですね」とのこと。また「テトラスリフト」は上昇時も収納時も床がフラットになり安全なため、立ち会ひ車検には特に適しています」と、クイック車検が売りの同社らしいご意見も。さらに、マルチプレートが旋回するので限られたスペースを有効活用できるのも、他のリフトにはないメリットだとご評価いただきました。「ラムダリフト」に



足元がフラットなテトラスリフト
立ち会うお客様にも好印象かつ安全

については「一般整備やオイル作業に使用していますが、安定感が抜群ですよ」と五関工場長。タイヤ関連の「パディ5」と「リブラック234」も今回初めて導入されたもの。五関工場長は「タイヤ関連作業は今まで外注でしたので初心者が多いのですが、使いやすいですし、ホイールを傷つける心配がないのがありがたいですね。バランスも計算が速いし、液晶ディスプレイで作業状況が見やすいです」と話してくださいました。



初心者も安心して使えるパディ5
カンタン操作で作業効率は大UP

■既存顧客を大切に新時代のサービスを

少子高齢化により、自動車免許の新規取得者は減り、免許返納者は増えていく時代、荒川勉店長は「これからは既存顧客を核として売上げを確保する方法を見出すしかありません」と語ります。同社の入庫目標は既存顧客を対象に車検入庫80%、12ヶ月点検60%、6ヶ月点検40%です。「呼び込み」は車検・法定点検とも2ヶ月前にまずハガキで通知し、その後電話でご案内をします。「入庫するご予定がないというときには、その理由などを詳しくお聞きしています。また、在庫促進のため他社銘柄車に対してもアプローチしています」(荒川店長)。新車販売が伸び悩む昨今、サービス売り上げ確保のために、既存顧客のご家族がお持ちのどの車両についても、車検や法定点検を受け付けているのです。「ご家族のクルマの銘柄は様々ですが、車検などは任せていただきたいと思います」(荒川店長)。自社のクルマへ買い替えることより、他メーカーのクルマでも同社で車検整備ができることをPRしているのです。他には、同店の保有母体2,200台中約30%が1年に1度も入庫がなく、この3割のお客様へのアプローチが課題とのこと。在庫促進を図るため、営業マンは自身の手で「新聞」をつくり、全ユーザーに毎月郵送しています。「いらっしゃらないお客様の真実の声を把握することも必要です。お客様に対する当店の考えも、もっと伝えていきたいと考えています」。荒川店長の言葉は、これからのサービスを目指す同店の姿そのものでした。

新発売

新型登場！さらに使いやすくなったANZENのオパシメーター！ オパシメーター

DEX-200



無線リモコン プリンター内蔵 日本語表示

- 次の操作が瞬時にわかるメニュー表示でカンタン測定！
- 見やすいバックライト付きカラー液晶ディスプレイ



リモコン
業界
最小サイズ

MEXA-600SW



無線リモコン プリンター内蔵 日本語表示

- 無線リモコンになってさらに使いやすくなった信頼のMEXA！
- 操作部とリモコンがリンクし、ワンマン測定が可能です。



新発売

CO₂削減！環境にやさしい電気式エコ洗浄機 電気加熱式高圧温水洗浄機

AHW-509ES

灯油やガスに比べてCO₂の排出が少ない、電気加熱式の高圧温水洗浄機が登場！
実用新案を取得した温水タンクで、安定した温水の供給が可能。
灯油式と違い、煙突工事が不要で、多層階や屋内設置にも適しています。



型 式	AHW-509ES
吐 出 量 (l/h)	500
吐 出 圧 力 (MPa)	8~9
温 水 温 度 (°C)	常温~80
本 体 寸 法 (mm)	W855×D607×H1,100

新発売

大注目！バトラー社からメカニック待望のレバーレスタイプ登場！ レバーレスタイヤチェンジャー

KENDO.30light FI

従来の作業で必要とされていたレバーによるビード引き起こし作業が不要！
ビードの引き起こし作業は新設計のマウンティングツールが行います。
作業者の身体的負担を軽減し、安全でスピーディーな作業を実現する
次世代タイヤチェンジャーです。



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス（有料）のご利用をおすすめします。
お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス（ボイスワープ）対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス

☎ 0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。
受付時間：月～金（AM9：00～PM5：00）

ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp> ホームページ“ANZEN Web”ではANZENの最新情報を提供しています。